

② 書かない窓口

市民課と税務課では、申請書を記入しなくても各種証明書の発行手続きができるサービスの実証実験を行っています。

ここが便利！



- 申請書の氏名、住所、生年月日の記入が不要
- 住民票や戸籍、印鑑証明書、各種税証明書が取得できる

どうやって使うの？



市民課に設置している端末でマイナンバーカードを利用します。利用には、利用者用電子証明書の暗証番号（数字4桁）の入力が必要です。

③ 図書館のWeb予約とリクエスト

問合せ／市民図書館（☎ 33-4600）

図書館ホームページから本の予約やリクエストができます。受け取りは本館、各分館を指定できます。また、借りている本や予約している本の確認もできます。

ここが便利！



- 図書館に行かなくても自宅などから本の予約ができる
- 図書館に読みたい本がなければリクエストできる

どうやって使うの？



窓口でWebパスワードを登録し、図書館ホームページにログインすると、本の予約やリクエスト申込フォームが利用できます。



市民図書館HP

④ コンビニ交付サービス

問合せ／市民課 窓口サービス係（☎ 27-8126）

マイナンバーカードがあれば、コンビニで住民票や戸籍、印鑑証明書、所得証明書などが取得できます。窓口交付よりも150円安く取得できます。

ここが便利！



- 市役所に行かなくても近くのコンビニで手続きができる
- 休日や市役所が開いていない時間帯でも利用できる（6:30～23:00）

どうやって使うの？



コンビニのマルチコピー機でマイナンバーカードを利用します。利用には、利用者用電子証明書の暗証番号（数字4桁）の入力が必要です。



市ホームページ

人とまちに優しいデジタルタウンUSAを目指して！

デジタル化に対する不安を解消するためには、まず知り、体験することが必要です。市ではデジタル技術に触れ、便利さを体感する取り組みを行っています。今後も活動を広げていき、誰も取り残されない人とまちに優しい宇佐市を目指します。



光インターネット整備



スマホ教室



スマホ出前講座



マイクラフト体験会

D Xで市役所をもっと身近に

問合せ／総合政策課 情報政策係（☎ 27-8114）

自治体DXで行政サービスが便利に！

DX？



DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは、デジタル技術によって人々の生活をさまざまな面でより良い方向に変化させることです。

2040年の日本は、高齢化による高齢者人口がピークに達すると考えられており、少子化による人口減少問題も重なることで、労働力が不足するといわれています。自治体では、将来的に労働の担い手が減っても現在と同じ機能を維持していくために、行政サービスのデジタル化に取り組む必要があります。市でも、DXの推進により業務の効率化を図り、さらなるサービス向上につなげていきます。

自治体DXのイメージ

- ・ デジタル技術やデータを活用した行政サービスの提供 ▶▶▶ 利便性の向上
- ・ デジタル技術やAI（人工知能）などの活用により業務効率化を図り人的資源を確保 ▶▶▶ 行政サービスのさらなる向上
- ・ 国の基準に基づく自治体情報システムの標準化・共通化 ▶▶▶ 情報システムにかかる費用の削減

暮らしのDX

総務省の令和5年通信利用動向調査によると、全国のスマホ保有者の割合は78.9%で、70歳代の人でも64.4%がスマホを持っているという結果が出ています。スマホの普及により社会全体のデジタル化が日々進んでいく中で、より良い住民サービスを目指し、市でもスマホやマイナンバーカードを使った便利なサービスを提供しています。

① ぴったりサービス

マイナポータル「ぴったりサービス」を利用すると、子育てや介護などの一部の行政手続きでオンライン申請（電子申請）ができます。

ここが便利！



- 市役所へ行かなくても自宅などから手続きができる
- 24時間いつでも利用できる（メンテナンス時間を除く）

どうやって使うの？



スマホやパソコンからマイナポータルサイトにアクセスすると利用できます。一部の手続きでは、マイナンバーカードが必要です。



マイナポータルサイト